



2019年8月24日
第16回愛媛クリニカルパス研究会

パス教育の実態調査

医療法人住友別子病院
情報管理センター
クリニカルパス委員会
乗松 篤



病院名	住友別子病院
所在地	〒792-8543 愛媛県新居浜市王子町3番1号
開院	1883年（明治16年）5月
医療法人設立	2009年（平成21年）4月
標榜科目	内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、循環器内科、糖尿病内科、内科（人工透析）、腫瘍内科、精神科、神経内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、腫瘍外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、泌尿器科（人工透析）、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線診断科、腫瘍放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、病理診断科 【全30科目】
許可病床数	360床（内 ICU 6床、個室159床）
看護体制	一般病棟入院基本科（7：1）
入院患者数（2018年度）	1日：301名
外来患者数（2018年度）	1日：825名
職員数（2018年度）	常勤医師：50名（研医含） 非常勤医師：4名 常勤看護職：325名 非常勤看護職：37名 その他職員（常勤+非常勤）：257名 総職員合計：673名
稼働システム	2003年3月 オーダリングシステム導入 2009年7月 電子カルテシステム導入(EGMAIN-GX V01) 2016年10月 電子カルテシステム更新(EGMAIN-GX V07) 2019年9月 電子カルテシステム更新予定(EGMAIN-GX V08)

調査目的

クリニカルパスの導入目的

- 品質かつ均等な医療の提供
- インフォームドコンセントの充実
- 医療チームの連携強化
- 医療事故防止などの問題点の指摘と解決
- 看護師・医師の新人教育ツール
- 在院期間の短縮と収支の改善

➤ パス適用率は向上したが
本来の目的が達成されていない

➤ パス教育を見直し
患者を含めたチーム医療のツール

電子カルテ導入時の教育

ベンダによる電子カルテ導入時パス教育

- 医師：パスの適用方法
- リーダ看護師：アウトカム評価、バリエーション入力操作
- コメディカル：特になし
- 看護師パス委員：パス作成、マスタ作成
- 現場看護師：リーダ、パス委員からの操作教育
- システム担当者：特になし

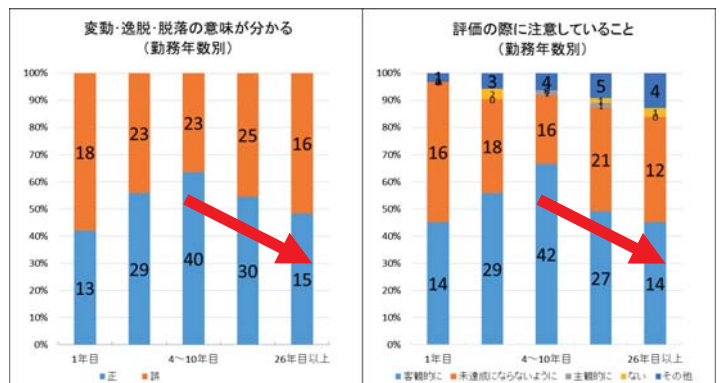
➤ 操作教育のみ
パスを登録し動かすことを最優先

➤ 主役は看護師
クリニカルパス＝看護師ツール

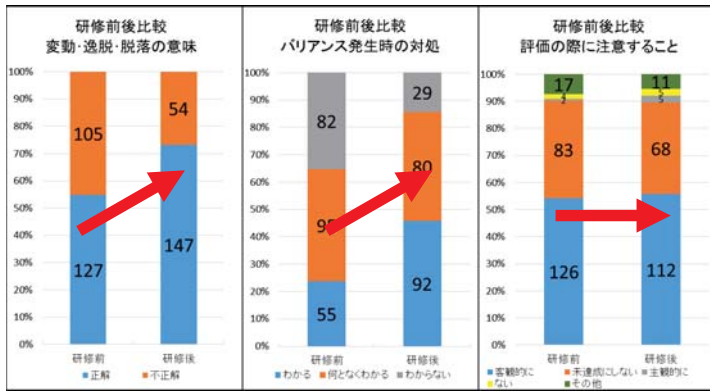
2018年度教育実績

実施月	対象	任意・必須	参加数	内容	講師
6月	新任看護師 パス委員	必須	5名	クリニカルパスとは パス作成方法「基礎編」 (パワーポイントでの自己学習)	パートナー 委員
7月	新任看護師 パス委員	必須	5名	ポリペックパスの作成実施 (実機演習)	パートナー 委員
7月 (4回実施)	看護師	必須	152名	クリニカルパスとは クリニカルパスの評価方法 (講義)	看護師パス 委員
10月	新任看護師 パス委員	必須	5名	パス作成方法「応用編」 (パワーポイントでの自己学習)	パートナー 委員
11月	新任看護師 パス委員	必須	5名	内シャント造設術パスを使って1日前入院の 内シャント造設術パス作成 (実機演習)	パートナー 委員
11月	看護師	任意	20名	日常の疑問解決！こんな時どうする？ どうなる？(講義・実機演習)	看護師パス 委員

パス基礎研修 事前アンケート



パス基礎研修 実施前後比較



愛媛県内医療機関でのパス教育

2019年6月21日 第5回愛媛県パス実務者の集い アンケートより

教育対象者	新入職員	在籍職員	パス委員	全職員
目的	<ul style="list-style-type: none"> パスの基礎的な知識の習得 パスの評価方法の習得 電子カルテの正しい入力方法 効果的なプレゼンテーション方法 	<ul style="list-style-type: none"> バリエーション発生時の評価方法、操作方法 パスの作成・運用・操作・評価 パスの実際を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> パスを作成し、監査ができる バリエーション発生時の操作や分析ができる 患者サービスの向上 パスについて指導できる 	<ul style="list-style-type: none"> パスの年間活動報告 パス活動を院内に普及させるための教育啓蒙 新規パスやパス監査結果などの発表 多職種参加を増やしたい
内容	<ul style="list-style-type: none"> パスの基礎知識、操作研修 運用上の注意事項 チーム医療とクリニカルパス ハンバーグ等の料理工程や旅行行程でパス作成、多職種によるグループワーク、プレゼン 	<ul style="list-style-type: none"> パス作成・改訂フロー、バリエーション発生時の評価方法 マニュアルの説明 パスの適用、延長、中止などの操作、アウトカム評価方法、バリエーション記録 e-Learningを用いた知識習得 	<ul style="list-style-type: none"> パスの理解 ポリベク、シャントなどデモパスを作成 パスの監査方法研修 パスマニュアルをPC管理とし、閲覧可能 パス委員の入替り時のサポート体制 主治医との協力体制 ミニレクチャー、テーマ別プレゼン 	<ul style="list-style-type: none"> 新規パスの紹介 バリエーション報告 一般演題発表 委員会活動報告 大会テーマに沿った討論、特別講演等 最近のパス動向 新人パス研修会

愛媛県内医療機関でのパス教育

新入職員に対して

- パスの基礎知識、操作教育
- 料理や旅行行程でパス作成

在籍職員に対して

- バリエーション発生時の対処
- チーム医療とクリニカルパス

パス委員に対して

- パスの作成、分析
- サンプリング作成

全職員に対して

- 委員会の活動報告、演題発表、外部講師の講演

指導者として知識を得る機会が少ない
本当にこれは正しいのだろうか

まとめ

職員に対して

- すべての職種でパスを理解し、慣れ親しんでもらうこと
- 基準・マニュアルの整備、運用の成文化が必要

パス委員・指導者に対して

- 多職種が関わるパスの作成スキル
- 根拠ある知識の習得機会を充実

医療機関単独、委員個人では
時間にも知識にも限界がある

医療機関同士のつながりを強化し
情報共有の仕組みを確立したい

